

DRETEC TRACK GEAR

ストップウォッチ「トラック ギア」

取扱説明書・保証書

品番：SW-115

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。正しく安全にご使用していただくため、ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。また、本書には保証書が付属しております。お読みになりましたら、大切に保管してください。

輸入発売元 株式会社ドリテック

〒333-0802 埼玉県川口市戸塚東1-10-4エクセレンテ1F

URL http://www.dretec.co.jp

【お客様相談センター】

☎0120-875-019

(受付時間：月～金 10:00～12:00、13:00～16:00 祝祭日および当社指定日を除く)

SW-115 の特徴

- 時計機能
 - ・時刻(時分秒)とカレンダー(月・日・曜日)を一括表示します。
- ストップウォッチ機能
 - ・1/100秒単位でカウントアップします。
 - ・最大34ラップ(計測)まで記録できます。
 - ・最大100ラップまでメモリー可能です。
 - ・最速のラップを音でお知らせします。
- データリコール機能
 - ・メモリーしたラン(計測)とラップのデータを順番に確認できます。
 - ・1ラン内のベストラップとアベレージ(平均値)を表示します。
- アラーム機能
 - ・2チャンネルのアラームを設定できます。
- ペースメーカー機能
 - ・一定の時間で音が鳴る、ペースメーカー(11段階)の設定ができます。

保証規定

- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ※ 誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地震等による故障または損傷。
 - ※ ご使用上に生じる外観の変化。
 - ※ 本保証書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
 - ※ 本保証書のご提示がない場合。
 - ※ 一般家庭以外(例として、業務用としての使用)に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代はお客様にてご負担願います。
- 電池は保証対象外です。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- また法令の定めのある場合を除き、事前のご同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。
- お買い上げ後1年間の保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- この保証書は本書に明示した期間において無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。

対象部品：本体

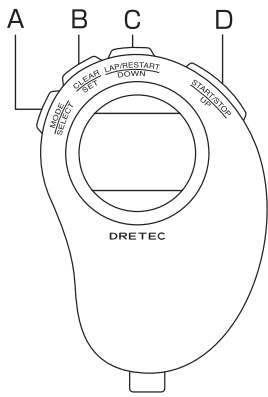
保証条件：持込修理

保証期間：お買い上げ日より1年以内

本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

保 証 書	お買い上げ年月日
	お買い上げ店
	お名前
	ご住所
	お電話番号

各部の名称と機能



ボタンA

- ・モードを切り換える時に押します。
- ・時刻設定モードでは、設定した数値を確認します。

ボタンB

- ・ストップウォッチモードでは、2秒以上長押ししてデータを消去します。
- ・リコールモードでは、2秒以上長押ししてラン(計測)のデータをクリアします。
- ・アラームモードでは、設定時刻を確定します。
- ・ペースメーカーモードでは、2秒以上長押ししてペース時間設定モードに切り換えます。
- ・時刻モードでは、2秒以上長押しして時刻設定モードに切り換えます。

ボタンC

- ・ストップウォッチモードでは、稼働中に押すとラップを表示し、ストップ時に押すと再スタートをします。
- ・リコールモードでは、記録されたラン(計測)を選択します。
- ・アラームモードでは、アラーム1とアラーム2を切り替えます。
- ・ペースメーカーモードでは、ON/OFFの切り換えをします。
- ・時刻モードでは、T2(T1)時刻を確認します。また長押ししてT2(T1)時刻を固定表示します。時刻設定モードでは、数値をダウンさせる時に使用します。

ボタンD

- ・ストップウォッチモードでは、スタート/一時停止。また、続けて2度押すと計測を終了して次のラン(計測)に進みます。
- ・リコールモードでは、押すごとに表示されたランのラップを順次表示し、最後にベストラップとアベレージを表示します。
- ・アラームモードでは、アラームのON/OFFを切り換えます。
- ・ペースメーカーモードでは、ON/OFFの切り換えをします。
- ・時刻設定モードでは、T1時刻とT2時刻・チャイムのON/OFF・12時間制と24時間制の切り換えを行います。また、数値をアップさせる時に使用します。

● 画面表示 (時刻モード)

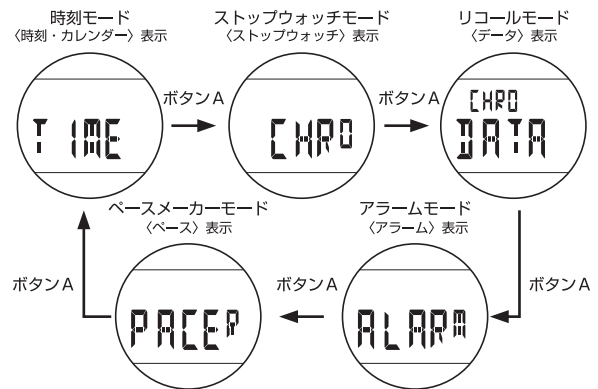


● 画面表示 (ストップウォッチモード)



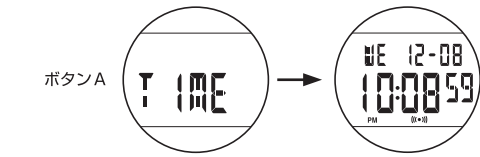
各モードの切り替え

ボタンAを押すたびに、下図の順にモードが切り換わります。



時計とカレンダーの合わせ方

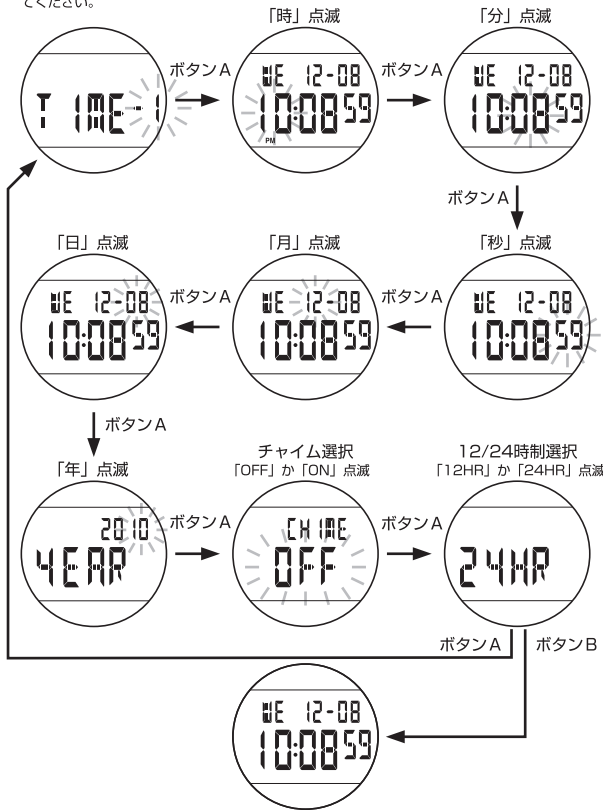
- ボタンAを押して「時刻モード」を選択してください。
- ・「TIME」を表示し、約1.5秒後に時刻を表示します。



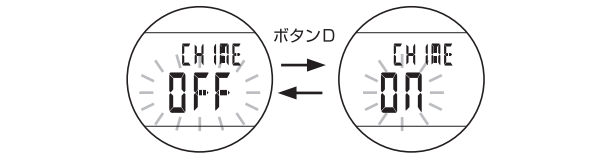
- ボタンBを2秒以上長押しすると「時刻設定モード」になります。
- ・「ADJUST / HOLD」が表示され「HOLD」が点滅後「ビツ」と鳴り「TIME-1」を表示し「1」が点滅します。「TIME-2」に設定されている場合は「TIME-2」が表示され「2」が点滅します。
- ※ ボタンDで「TIME-1」と「TIME-2」を交互に切り換えることができます。



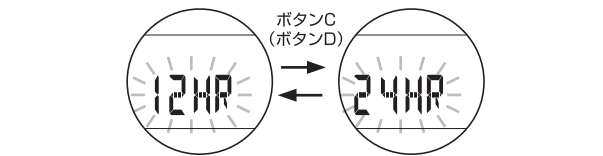
- ボタンDを押して、「TIME-1」を選択します。
- ボタンAを押すと「時」が点滅します。
- ・ボタンAを押すごとに点滅箇所が下図のように順番に切り換わりますので、修正する箇所を選択してください。



- 「時」「分」「秒」「月」「日」「年」の修正は、ボタンCとボタンDで数値を増減させます。
- ・ボタンDを押すごとに点滅箇所の数値が1ポイントずつ進み、ボタンCを押すごとに点滅箇所の数値が1ポイントずつ戻ります。
- ・早送りをしたい場合は、ボタンDを押し続けてください。押し続けている間、早送ります。また早戻しをしたい場合は、ボタンCを押し続けてください。押し続けている間、早戻しします。
- ※秒の設定では、ボタンCボタンDどちらを押しても「00」に戻ります。
- チャイムの「ON」「OFF」を選択する場合は、ボタンDを押してください。押すたびに「ON」と「OFF」が切り換わります。



- 時間制の「12HR」「24HR」を選択する場合は、ボタンCまたはボタンDを押してください。押すたびに「12HR」と「24HR」が切り換わります。

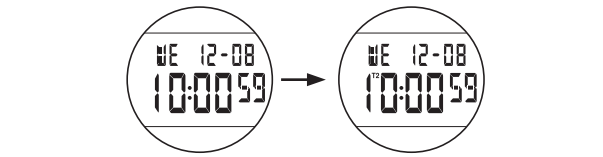


- 修正が終わったらボタンBを押して、設定を終わります。操作中にボタンBを押すと、いつでも時刻設定モードを解除し、時刻モードに戻ります。また、押し忘れた場合にも1分以上何の操作もしなければ、自動的に時刻設定モードを解除し、時刻モードに戻ります。

TIME-2の合わせ方

本製品は通常の時刻モード以外に、異なった時刻をお知らせするデュアルタイム機能を搭載しております。「TIME-1」を国内時刻に設定し、「TIME-2」を適宜海外時刻に設定しておくとう便利です。

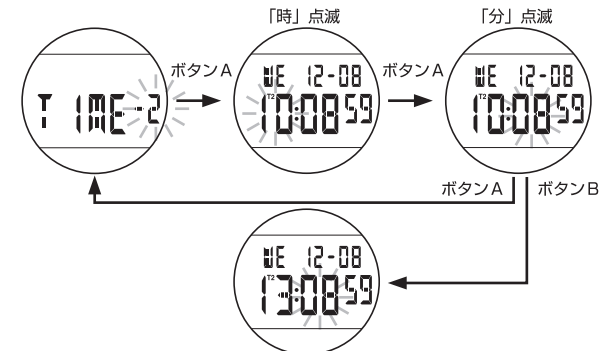
- 「時刻モード」の時に、ボタンCを2秒以上長押しします。
- ・「ビツ」と鳴って、表示部に<T2>と表示が現れ、TIME-2を選択したことを知らせます。
- ・はじめから<T2>が表示されている場合は、そのまま操作を続けてください。



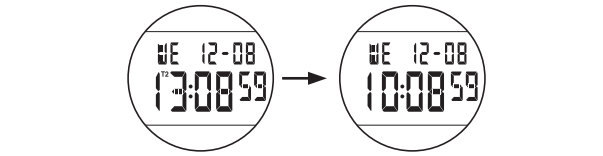
- ボタンBを2秒以上長押しすると「時刻設定モード」になります。
- ・「ADJUST / HOLD」が表示され「HOLD」が点滅後「TIME-2」を表示し「2」が点滅します。



- TIME-2を選択したまま、ボタンAを押すと「時」が点滅します。
- ・ボタンAを押すごとに点滅箇所が「時」「分」「TIME-2」と切り換わります。



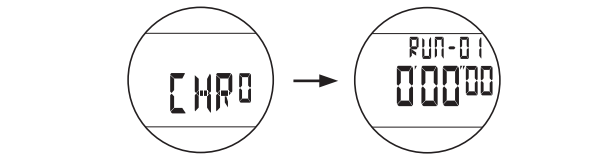
- 「時」「分」の修正は、ボタンCとボタンDで数値を増減させます。
- ・ボタンDを押すごとに点滅箇所の数値が1ポイントずつ進み、ボタンCを押すごとに点滅箇所の数値が1ポイントずつ戻ります。
- ・早送りをしたい場合は、ボタンDを押し続けてください。押し続けている間、早送ります。また早戻しをしたい場合は、ボタンCを押し続けてください。押し続けている間、早戻しします。
- ※TIME2の場合、時刻設定は「時」と「分」のみの設定になります。
- ボタンBを押して、時刻設定モードを解除します。
- 通常時刻に戻す場合は、ボタンCを2秒以上長押ししてください。
- ・「ビツ」と鳴って、<T2>表示が消え通常時刻に戻ります。



- 通常時刻のとき「TIME-2」を確認したい場合は、ボタンCを押してください。
- ・押し続けている間、表示部に<T2>が表示され、「TIME-2」の時刻を表示します。離すと<T2>表示が消え、通常時刻に戻ります。
- ※2秒以上押し続けると「TIME-2」に固定されますので、ご注意ください。

ストップウォッチの使い方

- ボタンAを押して「ストップウォッチモード」を選択してください。
- ・「CHRO」を表示し、約1.5秒後に「RUN-01 00 00」を表示します。
- ※「END」と前回のデータが表示された場合はボタンDを2秒以上長押ししてください。(次のランに進み、00 00を表示します)



□ 普通の使い方・・・積算タイムを測る

- ボタンDを押すとスタートします。
- 計測を一時停止するときは、もう一度ボタンDを押します。
- ・「PAUSE」と「ラップ数・ラップ時間」を交互に点滅表示します。
- ・計測を再開するときはボタンCを押します。

